

## 取組の効果

新型コロナウイルスの影響で、令和2年3月上旬から8月末まで開催中止とし、感染症対策(手指消毒、検温、受付台帳の様式変更等)を講じたうえで9月から再開した。再開にあたり受付場所の変更を施設管理者と協議したり、学生スタッフが中高生に接近する際のガイドラインについて学生を交えて議論したりしながら準備を進めた。新型コロナウイルス対策により公共施設等の学習スペースの席数が減少しているため、その受け皿として学習の場を提供することができるほか、大学生サポーターと中高生が勉強以外での会話を楽しむなど、コロナ禍でコミュニケーション不足に陥りがちな中高生・大学生双方の情緒安定に役立っている。

**背景・ねらい** | 学習支援による学習習慣の確立と、居場所におけるスタッフ及び大学生ボランティアとの交流により中高生の健全育成を図る。

**対象校・対象者** | 市内全学校（6校）及び高等学校（5校）の在校生及び市内在住の中学生・高校生

**実施教科** | 教科の指定なし

**実施場所** | 刈谷市総合文化センター3階 談話コーナー、創作活動室

**実施の形態** | 持参した教科書・問題集・宿題などで自主学習をすることを基本とし、わからない部分や勉強方法について個別指導をする。

**実施日・回数** | 毎週火・木曜日 午後6時～8時

**登録人数** | 登録制とせず、利用ごとに受付する。

**参加人数(平均)** | 8名（令和2年度平均）



## コーディネーター等の取組の様子

コーディネーターは、大学生ボランティアの配置、当日の利用受付を含めた運営管理を担当し、また、大学生ボランティアとともに、利用する中高生とのコミュニケーションのとり方や支援方法について考えている。